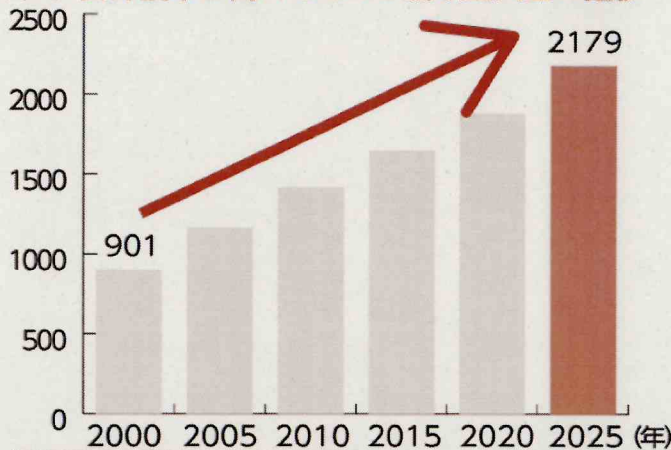


## 各位の年金を狙い取り？

（万人） 要介護率が高くなる 75 歳以上人口の推移



高齢化が進み、サービスの利用者が増加した場合、制度を維持するために**保険料の上昇は避けられない**ものとなり。

今回、総報酬割による介護保険料の大幅な増額が起こった背景にあるとされています。??。

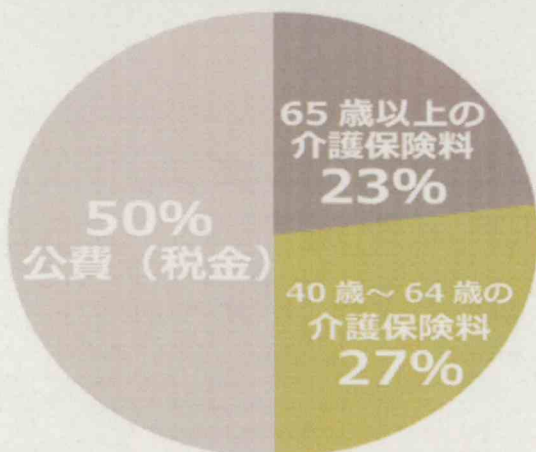
「**2022 年危機**」とされています。

2022 年を境にして、1 号保険者が**増加**し 2 号保険者数が**減少**する現象になり「介護保険財源確保がむずかしくなることは確実」今回の保険料の増大についてもその対策の一つとして行われたものと言えるでしょう。

介護保険の財源構成と規模



介護保険の財源の内訳



◀◀◀◀◀  
65 歳以上が**増加**  
64 歳以下が**減少**

65 歳以上の人口が増加し、64 歳以下も増加するのであれば 22% から 23% に割合を変えなくても良いのですが 64 歳以下の人口が減少の一途をたどる傾向で、**最近の出生率は**  
(1990 年 = 1,221,585 人) (2000 年 = 1,190,547 人)  
(2010 年 = 1,777,305 人) (2016 年 = 981,060 人)  
(2018 年 = 918,400 人) (2019 年 = 865,234 人)

(2020 年 = 840,835 人) (2021 年 = 811,604 人) の通りの漸減数が物語っています。

故に介護保険の前途は「**厳しい・苦しい???**」。となるばかりで?。

保険を利用しない健康で丈夫な体力を作って欲しい「**その手段として???**」

= 「**通いの場**」 をと言われるのは「**ぴ～ん**」とこないのですが、  
集まって「**がやがや**」「**ワイワイ**」やる事で「**身体を動かし、頭も使う???**」

## 介護保険料の減少につながるのかな?。

☆ 前頁から、まだ「続きます。」が介護保険の負担額が開始から右図 2019 年迄に

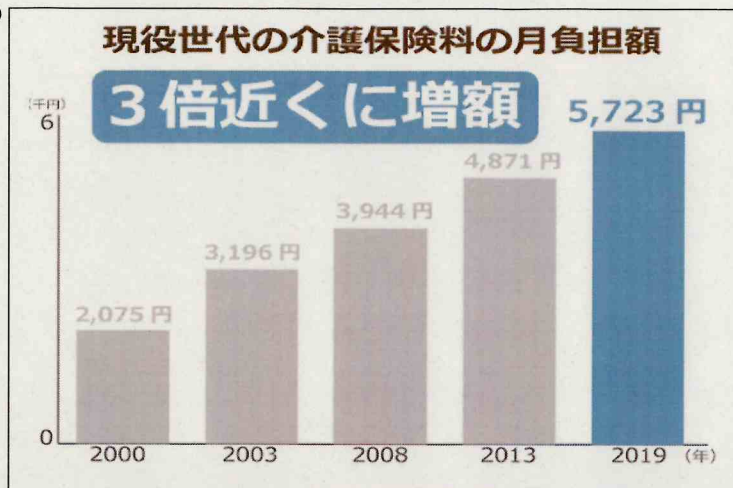
「約 3 倍近くに増額」

そして給付費用も 3 倍に

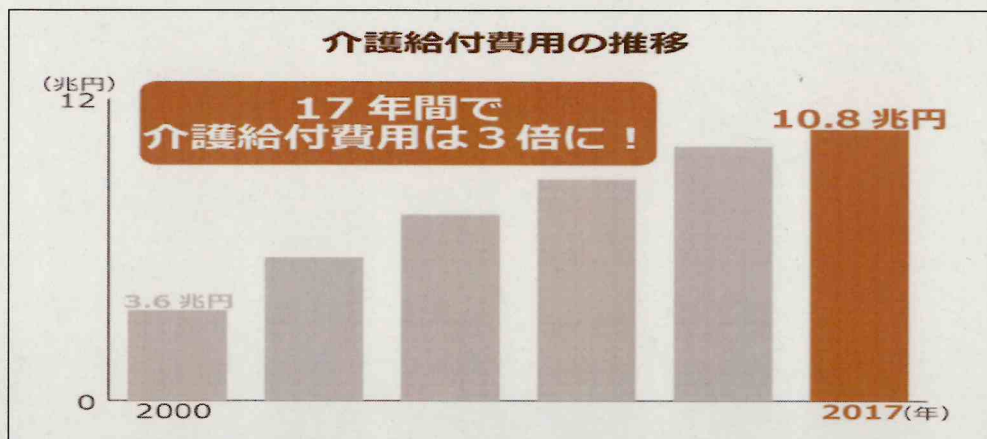
厚労省は

☆ 歳出を想定しながら、歳入を考え工面していますが、

全額、我々の懐へ手をねじ込まれ？。



「文句を言わずに出せ!!!」と「むしり取る」??? 「これで良いのかな?。どうかな?。」



国民年金の受給者なら

少額の金額から

「黙って?ピンハネ!」

「仕方ないなあ〜。」

で済ます訳には

いかない!。

と云っても

「ピンはね?」

だから皆さんは「泣き寝入り」

と云って泣き寝入り??。できますか??。

「日銀は銭がなければ」「なんぼでも印刷して、ばらまけば??。」

「そんな訳には行けないしね〜」

?さ〜て???

「通いの場」が作れない・行けない方々は、個人で「徒歩」の他、何かの運動など毎日の日課として「体を動かす?」。また自転車で一寸「ぶら・ぶら」、四季折々変化する景色を見ながら「アチ・コチをぶらり」は、如何でしょうか?。

### 介護保険法 (第四条)

国民は、自ら要介護状態となることを予防するため、加齢に伴って生ずる心身の変化を自覚して常に健康の保持増進に努めるとともに、要介護状態となった場合においても、進んでリハビリテーションその他の適切な保健医療サービス及び福祉サービスを利用することにより、その有する能力の維持向上に努めるものとする。

◆ 最低=1日20~30分は

散策?。

散歩?。

また、自転車で回遊などして体を動かしましょう!!。